



今月の話題：東北地方を襲った地震と大津波の災害復旧もままならぬうち、相次ぐ大型台風、大雨であちこちに山崩れが発生、土石流が家屋を押し流した。御嶽山の噴火は多くの人命を奪い、阿蘇山も不気味な噴煙を上げている。更に白馬村の地震と今年は天変地異が相次ぐが、自然の人の及ばぬ破壊力になすすべがない。この夏、陸前高田市での広大な盛り土工事を見たが、なぜか空しい思いが去来した。国土浸水の危機を克服するオランダの知恵に学ぶ事はないのだろうか。(伊藤誠三)

□ 本部便り (金森捷三郎記)

・各部にお願いしました報告書類の締切り(12月8日)が近づきました。宜しくお願いします。

・事務所近くの居酒屋竹トンボの後継の店が開店しました。広東風の中華料理店でリーズナブルな価格です。

□ 建築部会 (安部重孝記)

・11/25(火)第6回「モンゴルで建築技術シンポジウムを開催して—その2」を松村藤田研究室会議室にて開催。講師：松村先生、向野、吉田一空、松本年史

・12/1(月)伊藤忠都市開発 IPDⅡ本年度最終第6回開催予定 講師：和田先生「免震マンションの現状と課題」引続き、年間講座の総括質疑、討論

・建築技術誌のサーズ連載の「建築の夢、そして未来」は来年7月で終了。8月からは新テーマ「建築の喜怒哀楽」ですと松本信二さんより報告あり。原稿依頼の折は皆様よろしくお願ひいたします。

・11/29(土)日本学術会議 学術フォーラム「東日本大震災、阪神淡路大震災等を国際的にどう生かすか」趣旨説明 和田先生、PD コーディネーター 米田先生

○建築部会予定：WG：12月1日 13：30～15：00、

部会：12月18日(木) 17：30～19：30

□ 戸建住宅部会 (阿部市郎記)

・12月の戸建部会は5日(金)に開催しますが、今回は来年度の事業計画策定について討議します。部会員の皆様から積極的なご提案を期待しています。既にご提案を下さっている方もありますが、当日ご欠席の方にも是非ご提案を頂きたくお願ひ申し上げます。

・大型木質構造建築設計者育成Webセミナーは現在120名余の聴講申込があります。無料講座ですから、是非、部会員の皆様も申込んで下さい。乞うご参加

○11月部会予定：12月5日(金) 18：00～

今月の卓話 中村 孝氏(西松建設)です。

□ 集合住宅部会 (小畑晴治記)

・11月4日の部会で11月までの到達成果を確認した。

① 中層住宅EVの“避難用EV”としての開発申請が、都中小企業公社で非採択となったが、団地再生の切り札として、これまでの出前講習会を行った分譲団地管理組合等への働きかけと、URやJSへの実用化協力の打診を行うことになりました。更に横森製作所、スギヤスの協力メーカーとも新たな連携体制を確認して進めることとなりました。

② 中層階段室住棟対応の研究結果として、非階段室の中層住棟のEV設置/取り替えやスキップフロアアクセスの「EV各階停止化」についての管理組合対応も行うことにしました。

③ 助成事業への申請について、9月18日の二次ヒアリングまで対応したほか、多摩NTの”まちせん”の幹部との意見交換を9月9日に行いました。多摩NTでも超高齢化が進む中層分譲団地で、階段昇降の問題が深刻化しており、簡易昇降機の実用化が待望されているとの情報を頂きました。

○次回部会予定：1月13日(火)

□ マンション管理組合支援事業部 (向野元昭記)

・12月14日ビスタリエ向陽台団地大規模修繕工事の設計監理業務の応札説明会に出席予定。(塚部、向野)

□ LLB 技術研究会 (安孫子義彦記)

・第4回技術交流プレマルシェの開催

日時：12月4日(木) 15：00～

場所：千代田区飯田橋3-4-4第5田中ビル

(一社)日本建築設備診断機構 会議室

課題：エコパイプ蓄放熱ユニットパイプ(星光社製)

連絡：03-3263-1150 安孫子義彦まで

□ 建築技術誌 11月号サーズ欄の掲載記事・執筆者

・河合 誠「住宅技術者とオープン構法」

・菅沢光裕「重要文化財：明治丸修復工事見学記」

□余滴：碧空に残れる柿や加賀の里 捷三郎

◎休刊のお知らせ：年末年始の休暇を含みますので、年初1月発行のマンスリーレポートは休刊いたします。